

国語科学習指導案

本単元で育成する資質能力：主体性・積極性，思考力，表現力

指導者 教諭 井上 裕香

1. 日 時：令和3年2月10日（水）第5校時
2. 学年・学級：チャレンジ1組 3名（男子3名 女子1名）
3. 題 材 名：「先人の文字に学ぶ」

本時の学習

4. (1) 本時の目標（全3時間 本時 2/3）
 - ・行書と楷書の違いを理解し，違いを見分けることができる。
 - ・書き手による個性に気づくことができる。
 - ・貝合わせの貝づくりを通して古典に親しむことができる。

(2) 観点別評価規準

書き手による違いを理解し，自分の名前を表現することができる。

(3) 学習展開

	学習活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)	資質能力
導入 十分	1 本時の学習の見通しを持つ			
	○古典の遊びには何があったか考える。	貝合わせや蹴鞠，和歌など，現代と違う古典の世界をイメージさせる。	(発表)	主体性・積極性
展開 三十五分	2 本時のめあてを示す			
	自分に合った字体を選び，名前を書くことができる。			
	○前回の反省を踏まえ，変体仮名で名前を書く。	見本を見ずに自分の名前を変体仮名で書けるように練習させる。	筆の流れを意識して書いている。(ワークシート，表現)	主体性・積極性 表現力
	○ハマグリの貝に練習した文字を書く。	ハマグリの貝に下書き無しで自分の名前を変体仮名で書かせる。	二枚貝に同じ大きさで名前を書いている。(表現)	表現力
まとめ 五分	3 本時の振り返りをする			
	○振り返りをする	振り返りの評価 A：書き手による違いを理解した上で自分に合った文字の表現ができ，古典世界に関心を持つことができた。 B：書き手による違いを理解し，自分の名前を書くことができた。 C：書き手による違いを理解することができた。	他者の作品と比べて書き手による違いを感じている。	思考力